

# 日本語教育課程の授業科目及びその内容

阪奈中央リハビリテーション専門学校

日本語科

科目名	授業内容
総合日本語	書くこと、読むこと、聞くこと、話すことを複合的に組み合わせ、日本語能力をバランスよくレベルアップ。初級レベルでは基本的なやり取りができるように学習を進め、日常生活に困らない程度の日本語能力を身につける。初中級・中級以降では、まとまった文の読み書き、講義やニュースを聞き、自身の意見の論理構成を考えながら話すことができる日本語能力を養う。
聴解	レベルに合わせた聴解ストラテジーを習得し、身近な話題だけではなく、テレビのニュースや時事問題の聞き取り練習を行う。ディクテーションを通して、正しく聞き取れる聴解力を身につける。
読解	レベルに合わせた読解ストラテジーを習得し、長文の内容把握と正確な情報の読み取りができるように読解練習を重ねる。幅広い分野の読み物に触れるべく、自主学習をすすめられる教材の提供も行う。
発音	明瞭な発音で話すことができるように口頭練習を行う。様々な発音練習を通して、日本語の拍、高低アクセント、イントネーションなどについての理解を深め、聞き取り能力と発話能力の向上を目指す。
作文	身近な話題から、社会的な話題まで幅広い内容の文章が書けるように練習を行う。読み手にわかりやすい文章にするためにはどうすればいいのか、学習者同士で話し合う活動を設け、自ら考え、書く力を養う。
語彙	基礎漢字を含む漢字の学習、日常生活に関わる語彙、学生の専門分野に関わる語彙の学習を行う。学習した語彙をコミュニケーションの中で正確に使用できるように語彙の活用も練習する。
スピーチ&ディスカッション	自分の考えや調べたことについて、聞き手が共感、納得できるような話ができるように、段階的に練習を行う。様々なテーマでのスピーチや発表、ディスカッションなどを通して、1人で長く話す力を育てる。
一般常識	日本の行事、日本文化、日本人の仕事観や働き方を学び、日本で生活する上でのマナーを身につける。進学や就職に向けて、ワークを通して自己分析を行い、自己理解・他己理解を深め、多様性あふれる社会での生きる力を養う。
介護の日本語	日本の介護現場事情について理解し、介護現場で使用されている語彙やフレーズの学習を行う。ケーススタディやロールプレイを通して、介護現場での実践的なやりとりを習得する。
JLPT 対策	試験前の短期間に対策を行い、短期間で集中的に学習することで、4技能のレベルアップを図る。協働学習を通して、より理解を深められるように授業展開を行う。